

2019 「働き方を考えるセミナー」 開催報告

令和元年12月18日（水）本館北棟 講堂1 に於いて、「働き方を考えるセミナー」を開催いたしました。

今年度は、遠くスウェーデンの地でご活躍の宮川絢子先生に遥々ご足労いただきまして、スウェーデンの子育て支援・働くママ医師から「子育て+仕事120%」と題してご講演いただきました。

講話では、スウェーデンと日本の医療システムの違いや男女格差について、さまざまなデータを引用して分かりやすくお話いただきました。中でも、患者側からの厳しいアクセス制限や費用対効果判定による治療の選択・中止等、日本では容認を得られない様な医療システムの浸透には聴講者の方々も皆大変驚いていました。また、宮川先生ご自身のお子様（双子）の出産、子育てを経験している中で、女性外科医としてキャリアを目指す考え方をご提言いただきました。「生きるために働く」、「人生は不公平」というご提言の中に、先生の女性外科医としての強い信念をお示しして頂いた講演となりました。聴講者からのアンケートでは、「日本とスウェーデンの両方の国を体験しておられるからこそのお話で大変興味深かった。」「日本の意識改革が継続的に必要であると思った。」「キャリアや働き方について考える機会となりました。」などの様々な意見が寄せられました。

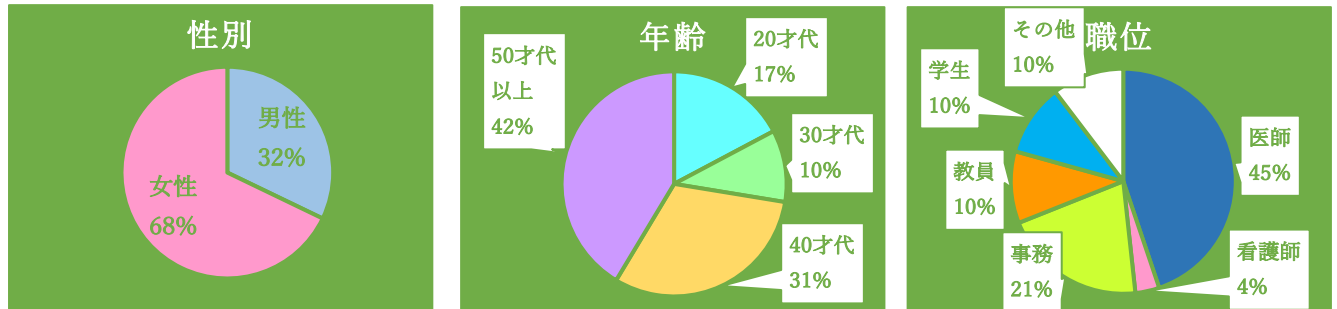
医師・研究者キャリア支援センターでは皆さんの働き方改革の少しでもお役に立てる催事をこれからも企画していきたいと考えております。



※セミナーの様子は、自治医科大学図書館HP ビデオオンデマンドよりご視聴いただけます。是非ご覧ください。

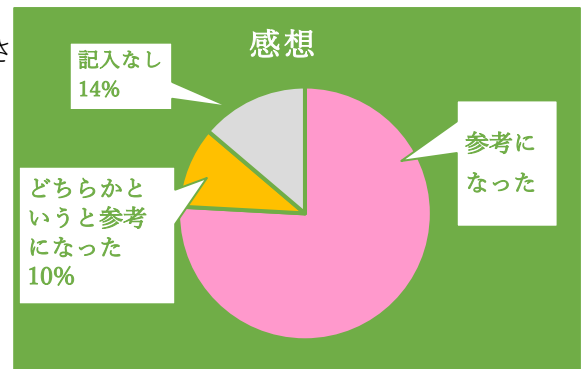
以下に、アンケートのご意見を掲載いたします。

〈1〉ご来場者ご自身についてお伺いします。



〈2〉本日のセミナーの内容についてご感想をお聞かせください

1. 参考になった 22人
 2. どちらかという参考になった 3人
 3. どちらでもない 0人
 4. どちらかという参考にならなかった 0人
 5. 参考にならなかった 0人
- 記入なし 4人



〈3〉本日のセミナーのご感想、ご意見をご記入ください。

- ・「人生は不公平」と思っていれば辛さが半減。「権利」を主張して「義務」も遂行。「多様性を認知」。という言葉が印象強く納得しました。
- ・スウェーデンの病院と日本の病院との違いに驚いた。
- ・キャリアや働き方について考える機会となりました。
- ・ユニークな子育てのルールが知れた。
- ・“人生を楽しむために仕事をする”に大変共感した。
- ・価値観をゆるやかに変えて行く必要があると感じた。
- ・このようなセミナーを開く貴学の考え方に敬意を表します。
- ・患者側の意識改革を必要と感じた。多くの学生が参加した方が良いと思う。
- ・QOL 上昇のための工夫、カルテ口述や電話診療などが進んでおり驚いた。
- ・外国（北欧）のシステムだけではなく、先生が持つわかりやすい考えた方が身にしみた。
- ・先生のメンタルがとても強く凄いと思った。



懇親会での一枚♪

- ・手術の中止という考えに理解がある事は日本には無い事で、フレキシブルな対応には必要かと思った。
- ・男女平等や働き方など、日本と違う部分が多いことを具体的に知ることができ、大変有意義でした。貴重なお話をありがとうございました。
- ・医師数が少ないのに入院期間、CT台数が多い点が印象に残った。男女平等と考えているというお話には確かにそうなのであろうと考えさせられた。若い人は権利というお話も確かにそうだと思うされた。
- ・他国の状況がよく分かって勉強になりました。多様性を大切にすることを改めて感じました。
- ・素晴らしい講演だった。学長先生が口述されたところも意外でした。日本の意識改革が継続的に必要であると思った。在院日数を減らすには、家族が介助のための休みをとれるようにもする必要があった。
- ・以前から宮川先生のブログを読んでいたの、今回直接お話を伺うことができとても嬉しかったです。
- ・「スウェーデンの医師のQOLは高い」ことがまざまざと理解できましたが、一方で「患者としての自分」を考えたときになかなか辛い環境なのだろうというのが本音の感想です。また、宮川先生のご提案の実現には、国民性を大きく根本から変えねばならないことが多くなかなか困難かと思いました。私自身、患者さんに迷惑をかけられない、他の医師にかわってもらうのが申し訳ないという気持ちが強く、自分が退く選択をしがちです。
- ・女性の活躍についてのお話が面白かったです。沢山のデータをご紹介いただき良かったです。
- ・医療福祉教育の先進国と思っておりました。ただ、お話を伺うとまだまだ差別化の残る、ある意味努力なくして生き残れない国なのかなあと感じました。北欧の国々の税金が高い部分にも、もう少し触れていただいたお話を伺えればと思いました。
- ・スウェーデンと日本の男女平等、子育て、教育システムの違いがよく分かった。人生は不平等という言葉にこれまでの人生を乗り越えてきた遅しさを感じた。
- ・日本とスウェーデンの両方の国を体験しておられるからこそのお話で大変興味深かったです。女性の進出が日本でどれだけ遅れているのかのお話が印象強いです。



懇親会の様子♡

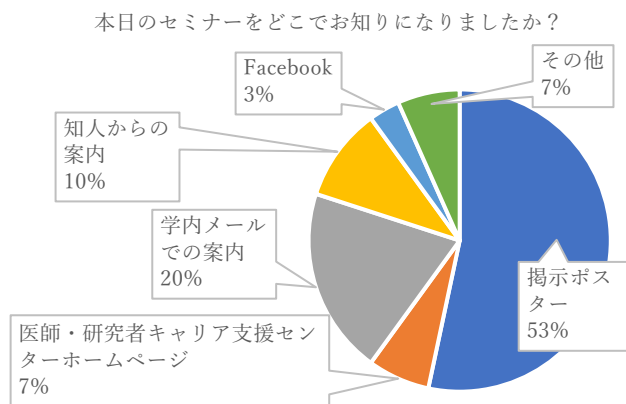
- ・一医師としても、一女性としても、そして一時期海外に住んでいたことや、学生時代にデンマークへ研修に行ったこと etc ・含めて色々と考えさせられるお話でした。日本に長くいると、自分のいる場所や環境が“あたりまえ”の様になってしまうけれど、多様な世界に目を向けると今後の生き方を考えるにも視点が変わりました。

- ・スウェーデンは寒いですが、行きたいですね。テクニック（手術等）も難しいのをコツコツとして
いるのは一緒かな？ ロボットもそうですね。

《原文のとおり記載》

〈4〉本日のセミナーをどこでお知りになりましたか

1. 掲示ポスター 16人
2. 医師・研究者キャリア支援センターHP 2人
3. 学内メールでの案内 6人
4. 知人からの案内 3人
5. Facebook 1人
6. その他 2人



〈5〉次回の講演会開催のご要望をお聞かせください。（講演者、講演テーマ 他）

・逆に「終活」というかキャリアの終え方を考えるような講演は大学 HP では needs があまりないで
しょうか。

同年代の女医（勤務医）とはたまに話題になるのですが。

- ・東洋医学をも活用されている医師の方。